

ひとつのことば

「ひとつのことば」

北原白秋

ひとつのことばで	けんかして	ひとつのことばで	なかなかおり
ひとつのことばで	頭がさがり	ひとつのことばで	心がいたむ
ひとつのことばで	楽しく笑い	ひとつのことばで	泣かされる
ひとつのことばは	それぞれに	ひとつの心をもっている	
きれいなことばは	きれいな心	やさしいことばは	やさしい心
ひとつのことばを	大切に	ひとつのことばを	美しく

10月の全校朝会で紹介した北原白秋の詩です。ことばにはひとつの心があり、ことばを遣う人の心が表れます。10月には全校で「心がちくちくすることば」と「心がふわふわになることば」の学習をします。その学習を控え、全校朝会でこの「ひとつのことば」を紹介しました。ぜひこの機会に「ひとつのことばで 心がいたむ ひとつのことばで 泣かされる」、こんなことばを遣っていないか自分自身を振り返ってほしいと思います。

「さっきはごめんね。またあそぼ。」

以前にこの短いことばで道徳の授業をしたことがあります。きっと普段は仲の良い友だちが何かのきっかけでけんかとなり、手紙を出した子にひどいことばを言ったのだと思います。けんかになるとつい乱暴なことばが出てしまい、そのようなことばを使うと次々と相手の嫌がることばが出てきます。後で振り返ると、何であんなことを友だちに言ってしまったのだろうと、いやな気持ちを引きずってしまうこともあります。きっとこの手紙を書いた子は、そんな気持ちだったのだと思います。

「さっきはごめんね。またあそぼ。」この手紙を読んだ子どもはきっと「ひとつのことばでなかなかおり」できたのではないかと思います。

「優しいことばは、たとえ簡単な言葉でも、ずっとずっと心にこだまする。」

マザーテレサの言葉だそうです。「ごめんね」「ありがとう」のことば一つでも、きちんと声に出して、気持ちを相手に伝えていくことも大切なことです。

ことばは遣う人そのものを表すと言われることもありますが、普段のことば遣いに心を配っていききたいと思います。何げない一言で人は傷つき、いやな気持ちになります。人間関係を築くのも壊すのもことば一つです。相手を思いやる優しいことば、美しいことばがあふれる学校でありたいと願っています。

こんにちは



はい



いいえ



ありがとう!



ごめんなさい



さようなら

